

科目名	現代組織論			ナンバリング	SOC441	授業形態	講義
対象学年	2 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	菅野昌史	担当教員	林洋一				

授業の概要	私たちは日々、さまざまな組織に所属しながら生活を送っている。そして、一人では実現が難しいことも、組織で行動すれば達成できたりする。また、そうした有益な手段として認められた組織は、社会の中に制度として安定的に存在することになる。その一方で、複数のメンバーと一緒に行動するがゆえに問題が生じることもある。組織はそうした問題に対処しながら、徐々に、その形を変えていくことになる。 この講義では、そうした組織のうち、「家族」「学校」「会社」の3つを取り上げ、それらを支える制度とその変容について、法律学や社会学の観点から解説するとともに、メンバー間の人間関係とそこでの課題について、心理学の観点から解説する。						
到達目標	1. 「組織」について学ぶ意義について論理的に説明できる。 2. 「家族」「学校」「会社」を支える制度とその変容について説明できる。 3. 「家族」「学校」「組織」をめぐる現代的な課題について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	身の回りの人と人とのつながり、また、新聞などで取り上げられる「家族」「学校」「会社」についてのニュースに関心をもち、自分なりの問題意識をもって、授業に臨む。授業中は、教員が話した内容だけでなく、そのとき浮かんだ疑問やアイデアを、配付した資料やノートに必ずメモする。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 「組織」について学ぶ意義について論理的に説明できる。 2. 「家族」「学校」「会社」を支える制度とその変容について説明できる。 3. 「家族」「学校」「組織」をめぐる現代的な課題について説明できる。	1. 「組織」について研究する意義について、心理学、社会学、法律学の観点から説明できる。 2. 「家族」「学校」「会社」を支える制度とその変容について、具体的なデータや事例に基づき分析・考察できる。 3. 「家族」「学校」「組織」をめぐる現代的な課題について、具体的なデータや事例に基づき分析・考察できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
小テスト・授業内レポート	○			○	○		30%
宿題・授業外レポート		○	○		○		10%
授業態度・授業への参加			○	○			20%
第15回で作成する最終レポート	○	○	○	○	○		40%
出席状況							加点はしないが、減点となることがある。

課題、評価のフィードバック	1. 毎回の授業で提出してもらうリアクションペーパーについては、次の時間にいくつかを紹介しコメントする。 2. 授業に関する質問や相談には随時応じる。 3. 最終評価に関しては学生からの要請があれば、その根拠を示し、説明する。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス	「組織」について学ぶ意義、授業の進め方について説明する。	担当:菅野
	第2回	「組織」とは何か	「組織」の定義と分類について解説する。	担当:菅野
	第3回	「家族」を支える制度とその変容①	「家族」を支える法制度の概要と変遷について解説する。	担当:菅野
	第4回	「家族」を支える制度とその変容②	「家族」をめぐる具体的な変化と法制度の関係について解説する。	担当:菅野
	第5回	「家族」における人間関係とその課題①	「家族」の人間関係を、人間の生物学的な特徴と社会・文化的な視点から解説する。	担当:林
	第6回	「家族」における人間関係とその課題②	「家族」間のトラブルや葛藤とその解決に向けての心理的支援について解説する。	担当:林
	第7回	「学校」を支える制度とその変容①	「学校」を支える法制度の概要と変遷について解説する。	担当:菅野
	第8回	「学校」を支える制度とその変容②	「学校」をめぐる具体的な変化と法制度の関係について解説する。	担当:菅野
	第9回	「学校」における人間関係とその課題①	「学校」における人間関係とその中で生じる諸問題について解説する。	担当:林
	第10回	「学校」における人間関係とその課題②	「学校」で生じた問題の解決方法と個人・集団への心理的支援について解説する。	担当:林
	第11回	「会社」を支える制度とその変容①	「会社」を支える法制度の概要と変遷について解説する。	担当:菅野
	第12回	「会社」を支える制度とその変容②	「会社」をめぐる具体的な変化と法制度の関係について解説する。	担当:菅野
	第13回	「会社」における人間関係とその課題①	「会社」内における人間関係の特徴とその中で生じる心理的な問題について解説する。	担当:林
	第14回	「会社」における人間関係とその課題②	「会社」で生じた問題を解決するための心理的支援について解説する。	担当:林
	第15回	まとめ	これまでの授業内容をふりかえるとともに、各自の関心に従い、現代社会における「組織」をめぐる問題についてレポートを作成する。	担当:菅野
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		配付した資料に従った講義とそれに対する質疑応答を中心に進める。		
授業外学習の指示		【予習】各回のテーマに関係すると各自が想定する出来事について、インターネットや新聞、書籍を通じて、問題関心を深める。また、事前課題が課された場合には積極的に取り組む。(90分)【復習】配付した資料をもとに授業内容を振り返り、理解できていない点について調査を行う。(90分) (授業外学習時間: 毎週 180 分)		

教科書	とくに指定しない。配付した資料に従って授業を進める。
参考書	授業内で適宜指示する。
参考URLなど	授業内で適宜指示する。
その他	担当教員交代に伴い、授業内容も大幅に変更されています。シラバスを確認の上、受講の有無を判断してください。